

## 第13回教育課程編成委員会 議事録

開催日時：2019年8月20日（火）14:00～15:00

開催場所：下関福祉専門学校図書室

出席者： 河本由美（一般社団法人 山口県介護福祉士会 会長）  
山本美佐枝（社会福祉法人 下関市社会福祉協議会 在宅福祉課長）  
河田洋治氏（社会福祉法人 菊水会次長）  
関谷 豊（下関福祉専門学校 校長）  
田中満由美（下関福祉専門学校 教務部長）  
藤岡恵子（下関福祉専門学校 教務主任）  
長本幸子（下関福祉専門学校 専任教員）  
盛重美恵子（下関福祉専門学校 専任教員）

（敬称略）

- 議題
1. 卒業者及び在学者の状況報告
  2. 今年度の教育目標・課題
  3. 「福祉と文化の」授業について
  4. 各委員からの意見要望
  5. その他

### 1. 卒業者及び在学者状況報告

平成31年3月卒業生全員が、山口県内の福祉施設に就職している。

今年度よりベトナムからの留学生4名が入学し、1年生は24名である。

介護職員実務者研修については、委託訓練（6ヶ月）コースと通信課程を実施している。

### 2. 今年度の教育目標・課題

（1）利用者本人の望む生活の実現に向けてアセスメントを行い、介護過程の展開ができる。

1学年：介護過程に必要な情報を基に、アセスメントを行うことができる。

2学年：実習の中で、根拠に基づく介護実践を行うことができ、利用者本位の介護過程の展開ができる。

（2）人間関係の形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識を得て、実践することができる。

1学年：さまざまな人とのかかわり方や技法を学ぶことにより、コミュニケーションが人間関係の形成に必要であることを理解できる。

2学年：実習でのコミュニケーションを通し、良好な人間関係の形成ができる。

（3）多職種との協働の中で、多職種連携やチームケアを体験的に学ぶ事ができる。

1学生：多職種との協働で介護福祉士の役割及び、チームケアに必要な専門用語が理解できる。

2学年：多職種協働を通し、わかりやすく丁寧な記録を記入することが、チームケアの実践に必要なであることを理解できる。

・質疑応答を受ける。

Q：教育目標（1）「～介護の展開ができる」とは

A：実習Ⅱの1～3段階実習で合計3人の担当者を持ち、それぞれアセスメント、立案を行うことでいろいろな利用者とかかわり力を養い、最終的に3段階で介護過程の展開へとつなげていく。

Q：教育目標（2）のさまざまなかかわりとは、利用者のみではなくそれに関わる人も含むのか。

A：利用者はもちろん、その方に関わる多職種や家族・友人等などのすべての方とのかかわりである。

Q：教育目標（3）のわかりやすく丁寧な記録とは

A：情報や、自分の考えていることが誰にでも理解でき、共有できる記録が、わかりやすく丁寧な記録と考える。

### 3. 「福祉と文化」の授業について

委員からの意見

「介護予防」は1コマではもったいない。職場でいかされる。

「昭和史」として戦争体験が主となるイメージがあるが、施設現場では戦争体験が話題に出ることは皆無に等しい。また、戦後74年経ち戦争体験は、もう難しいのではないかな。

「昭和歌謡」については、幅広い年齢の中で育った歌を、ピックアップしてはどうか。

### 4. 各委員からの意見要望

(1) 授業以外でも「自分はここに居てもいい。地域の人に愛されているのだ。」

という自分の存在感を得られるようなことを学校としても取り組んでほしい。

(回答)

- ・地域貢献として、12月、2月に清掃作業を予定している。その際、地域の人から声掛けをしてもらうことがある。
- ・来年2/7 小月えびす祭りに2年生が全員参加し、地域との触れ合いを予定している。

(2) 地域貢献でボランティアを職場で勧めるが、人数が集まらない。災害ボランティアは、達成感があるためか参加するが、地域の清掃活動等は、参加しないという若者が多い。ボランティアそのものの意義を解って欲しい。「福祉と文化」にボランティアの講義を入れてみてはどうか。

(回答)

- ・検討をしていく。また委員の方からもどなたか講師の推薦をいただきたい。

## 5. その他

### 委員より

- ・他校で、ホーム・カミング・デイとして、卒業時に半年後の日時を決め、悩み等を先生に聞いてもらうことで離職率を下げる取り組みがある。

### 留学生に関して

- ・1年生ベトナム人4名はコミュニケーションには問題ないが、専門用語に苦戦している。
- ・留学生に対して下記の目標を教育目標として設定
  - 1年次：日本語検定試験に挑戦 N3→N2、N4→N3 へのレベルアップ
  - 2年次：卒業ができる日本語能力アップのため週1回、日本語コースを設けている。

### 次回開催の日時

2020年3月に開催予定